

| | | | | | |
|-------|-------|-----|-------------------|----|---|
| 科目コード | 31570 | 科目名 | 音楽表現論（令和元年度入学生より） | 単位 | 1 |
|-------|-------|-----|-------------------|----|---|

次の設題について、それぞれ1,500字程度でレポートを作成してください。
 ※五線紙は、「科目別レポート評価票様式集」に綴じ込みのものを使用してください。

設 題 1

対象となる子どもの年齢（3～5歳児）を設定し、楽器を使った表現発表の指導案を作成の上、指導法について記述してください。その際、楽器の作成時における留意点、指導の導入の工夫、この活動をとおして子どもに育ててほしいものは何か、5領域のねらいと幼児期の終わりまでに育ててほしい10の姿に基づいて考えてください。

— 作成の手引き —

- ① 子どもと楽しむための手作り楽器を3種類作成してください。その際、振る・叩く・揺らす・ひっかく・回す・傾ける・はじく・こすり合わせるなど、異なる動きを使って演奏するものを作って下さい。
- ② この手作り楽器を使った子どもの活動の指導案は、テキスト『こどもの指導法「音楽表現」』の巻末「保育指導案」の様式を基に作成してください。
- ③ この指導案を基にレポートを作成してください。内容には次のことを含んでください。
 楽器の作り方と留意点、身体の使い方・音と動きについての関係、活動内容（子どもの歌・曲を使用する場合は五線紙を使用し、曲名・作詞者・作曲者も記入のこと）、指導の導入の工夫、五領域と幼児期の終わりまでに育ててほしい10の姿を基にこの活動を通して子どもに育ててほしいねらいを記述してください。

※①と③を記述してください。

参 考 書

- ・本学テキスト「音楽表現論」
- ・西野洋子 茨木金吾 國光みどり 石川ますみ 田上栄美子 菅原峰子：『こどもの指導法「音楽表現」』豊岡短期大学 2019 ※本学配本テキスト
- ・文部科学省：『幼稚園教育要領解説』フレーベル館 2018
- ・厚生労働省：『保育所保育指針解説』フレーベル館 2018
- ・内閣府・文部科学省・厚生労働省：『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』フレーベル館 2018

【学習の目的・ねらい】

将来の保育における音楽表現で一番重要な「聴く」行為を研ぎ澄ませることがねらいである。出来上がった楽器を演奏するのみでは見過ごされやすい、身近な生活の場にある道具（ペットボトル、紙、箱、ボタン等）をどのように扱えばどのような音が出るのか、また身体の動きによってどう変化するのか。そのようなことを手作り楽器の制作過程を通して子どもたちが音に気付き、音を楽しむためには、まず保育者がその音に気付くことが必要である。この体験は、例えば絵本を読む活動の中でも活かされ発展させていくことが可能になる。絵本から聞こえてくる音を感じて表現し、効果音としての音を探求するなど、子どもと共に創造する保育者であるための感性を磨き、発想を広げ、方法を知る一端となることが、本レポート課題のねらいである。

【学習の進め方】

- ① 例えばペットボトルの中に入れるどんぐりの個数を変えることで音にどのような変化があるかに気付く。（ペットボトルのサイズ、中身、量を変化させるなど）
- ② 作成するにあたり、修理がきくか、安全であるか（誤嚥やケガの危険がない）、子どもの手のサイズに合っているかなどの留意点を想定し、年齢にふさわしいものを考える。
- ③ 表現活動でどのような音を使うのがふさわしいか、音の変化を感じながら、その場に一番ふさわしい音を選んでみる。
- ④ 子どもの歌、曲を使用する際には、五線紙に曲を書き、曲名・作曲者・作詞者を明記すること。
- ⑤ 絵本を使用する際には、題名・作者・作画者・出版社を明記すること。

【学習のポイント等】

乳幼児期に出会う、音や音楽を通じて育つ感性や創造性は、人としての人格形成の基礎となります。その後の人生の豊かさに繋がり、目に見えない、点数では評価出来ない重要な時間と経験であると言えます。これらを理解した上で、保育者として子どもたちと関わりをもち、この科目を学習する中で自分自身が「音をよく聴く、音に興味を持つ、不思議だと感じる、好きな音を探す、心地良い音を見つける、そして音を楽しむ」ということを経験してください。この学習を基に、保育現場で子どもに寄り添った楽しい音楽表現を展開してください。

内容については、

- ① 子どもの身体能力を考慮した手作り楽器の作成と作成手順が明確に記述されている。
- ② 楽器を使った表現方法を適切な素材（歌・曲・絵本）を使用し活動を展開出来ている。
- ③ 活動を行うにあたり使用する歌・曲・絵本などの出典が正確に明記されている。
- ④ 5領域のねらいと幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿との関連性が明記され、理解出来ている。

これらの点を考慮し、レポート作成を行ってください。